

2021年6月3日第142回運輸政策コロキウム～ワシントン・レポートX  
奥田専務 閉会挨拶

紹介いただきました専務理事の奥田です。本日は10回目のワシントンレポート開催いたしましたところ、朝10時から多くの方にご視聴いただきまして、ありがとうございます。今日は沖本主任研究員から、オンラインで新型コロナウイルス感染拡大下におけるアメリカの交通機関支援というテーマで、感染拡大の状況でありますとか、従前の交通機関に対する助成制度、もしくは、コロナ禍で取られた財政支援、あと、それに関して、関係団体がどういう動きをしたか、ということについて、分かりやすくレポートをしていただいたところでもあります。また、日比野先生からは、それに対するコメントと東京圏における鉄道利用者の行動変容でありますとか、人口動態の変化みたいなものを分かりやすく解説をいただきました。ありがとうございます。また、毎度のことながら、山内先生には非常に分かりやすく議論をまとめていただきました。ありがとうございました。

今回のレポートでは、いろんなアメリカの交通機関の現状でありますとか、大規模な財政支援が迅速に行われたということでもありますとか、関係団体のいわゆるロビーイングみたいなものについてレポートがあったこと、非常に印象深く、思いました。

私自身、ワシントンの所長でありまして、基本、行ったり来たりする状況なんですけど、去年の3月に行って以来、行けていないので現地の状況が、今回よく分かったということで大変有意義なレポートだったかな、というふうに思っております。今回のレポートが今後、日本でどういうふうな対策を取られるべきかというそういったあり方を考える際に、一助になれば幸いです。

ワシントンに研究員が駐在して、日本では知ることもできない現状みたいなものも把握をするところではありますので、今後そういった最新状況も適宜、情報提供させていただければありがたいというふうに思っております。

あと、日比野先生からご紹介ありました7月5日のシンポジウム、東京圏の鉄道についてコロナ禍と絡めた開催をいたします。また、山内先生からご紹介いただきましたけども、ワクチンパスポート、トラベルパスに関するセミナーも6月25日に開催する方向で準備を進めておりますので、ご関心おありの皆様も是非ともご視聴いただければありがたいと思います。

沖本君も今日はお疲れさまでした。時差が13時間ありますので、もう夜の11時ということかと思えますけども、気をつけて帰宅をしてもらいたいと思います。

ご視聴いただいた皆様方に毎回お願いしておりますけども、この後、アンケートを送信させていただきますので、今日の内容でありますとか、研究所での取り上げるべきテーマなど、お気づきの点を何なりと、是非ともご意見を頂ければと思います。私ども、それをすべて見させていただいて、こういった行事の進め方、改善に努めて参りたいと思っておりますので、どうぞよろしく願っています。

以上、私のご挨拶とさせていただきます。今日のご視聴ありがとうございました。